

対話アンケート&リーフ

「1000万対話」実現へ こうやって活用しよう

「総選挙躍進特別期間」推進本部は、1月5日付訴えで「1月中に、『対話アンケート&リーフ』を使って200万人規模の対話に押し上げに押し上げ、2月中に（読者と後援会員への）総当たりをやり遂げれば、『1千万対話』の展望がひらけます」と提起しました。担い手づくりと党勢拡大の前進へ——どのように「対話アンケート&リーフ」を使ったらいいでしょうか。

まず「対話アンケート」に 協力してもらおう

読者と後援会員のみなさんに、「コロナで困りごとはありませんか?」と声をかけ、アンケートを使って、「どんな支援をしてほしいか」「政治にやってほしいことはなにか」「最近の共産党への印象は」を教えてください——聞く力を発揮しましょう。

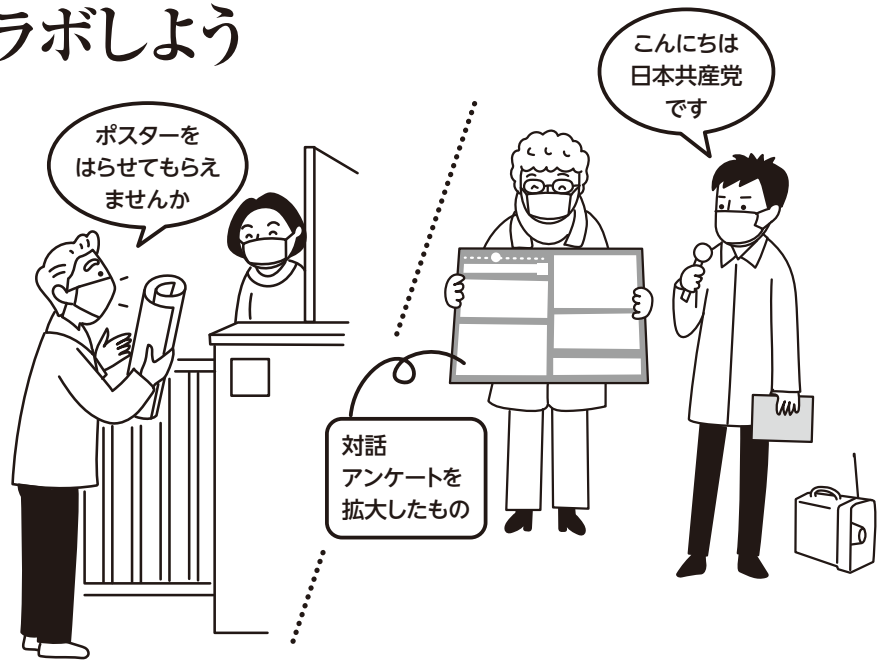
「対話リーフ」は、新しい日本をつくる日本共産党の5つの提案をワンパッケージで紹介。「コロナ対策」「教育費」「辺野古新基地」「ジェンダー平等」「格差と貧困」「気候変動」のそれぞれにつけられた一目でわかるグラフや図表が対話のきっかけとなります。



ポスターはりだし、 ハンドマイク宣伝とコラボしよう

商店街、駅ターミナルなどでハンドマイク宣伝をおう盛におこない、「対話アンケート」を拡大したシール投票ボードなども作ってとりくみましょう。

1月中のポスターはりだし完了と一体となった作戦をたて、たとえば地域を限定して世帯配布し、ポスターはりだし依頼とあわせた「軒並み対話」にとりくみましょう。玄関を開けてくれなくても「アンケートはファクスでぜひ返信をお願いします。インターネットでもできます」と声をかけましょう。



感染対策とった 「集い」で語り合おう

感染対策を十分とりながら、工夫して「集い」を企画し、「お知り合いを誘ってください」と読者と後援会員にお願いしましょう。

「集い」では、「対話アンケート&リーフ」を読み合わせ、参加者の要求や思いを出してもらって大いに語り合しましょう。「対話アンケート&リーフ」を3部、5部と渡して、ご近所の方、職場の同僚、友人・知人などに広げてもらいましょう。



真ん中世代、 若い世代の党員に `知恵、を借りよう

学生アパートへの配布、シール投票での活用など、若い世代、現役世代での「対話アンケート&リーフ」の活用にとりくみましょう。

いま各地でとりくまれはじめている真ん中世代交流会などで、若い世代、現役世代の党員に届けて、感想を聞きましょう。どんな活用をしたらいいか、`知恵、を借りましょう。

